

事業所内ユニット等での職場環境改善計画（抜粋）

	課題	目標	取り組み内容	取り組みによる変化
1	仕事が終わらずライラが募り、職員間の雰囲気が悪くなる	記録に時間がかかるので、記録の負担を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> ・どの時間帯に、どんな業務に時間がかかると探る 	<ul style="list-style-type: none"> ・A 勤リーダーは 10:15 から 30 分程度記録の時間にして直接支援は他勤務者に任せただことで解消した ・各勤務帯の時間を見直し、始終業時間を変更して職員同士の連携がうまくとれるようになった
2	同じ勤務帯が続くと同じ業務を繰り返すことでストレスが蓄積し、雑になる	1 人の職員で行う業務の削減し、職員 2 名以上で協力して行えるよう調整する	<ul style="list-style-type: none"> ・A 勤務で行っている排泄援助を B 勤務も補助に入る ・食事や排泄の記録（チェック表）はタブレットを活用して勤務リーダー以外が入力する 	<ul style="list-style-type: none"> ・A 勤リーダーの負担が軽減でき、他職員の業務が圧迫することはなかった ・職員間の協力し合う意識が高まった
3	休憩時間がしっかりと確保できない	一度で確保できない場合は分割し、休憩時間をしっかりと確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で休憩をとるタイミングを計るために声をかけ合う ・業務の内容を見直しし、人手が必要な時間帯や休憩のとれそうな時間帯を割り出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションも増え、お互いに行っている業務の理解ができるようになった ・少人数でも無理なく業務が行えるよう時間差を用いた生活支援を意識するようになった
4	会議の検討内容が多く、時間内に会議が終了しない	会議をスムーズに進行し、検討、対策を講じながら時間内に終了できるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・会議前に問題点を抽出し、出席者は事前に検討しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見をもって出席する職員が増え、意見が増えた
5	主に A 勤務者が入浴支援を行っているため、慌ただしく感じる	負担と感じている業務を分担し、負担軽減する	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のうちに誰がどの利用者の入浴を担当するか調整する ・機械浴の場合は、担当職員だけでなく他職員と一緒に援助する 	<ul style="list-style-type: none"> ・調整する時に「入ろうか」という声が聞こえるようになった ・準備や片付けを入浴担当でない職員がしてくれるようになり、記録や利用者に関わる時間が増えた